

J R加古川駅周辺の滞在空間創出に向けた社会実験について

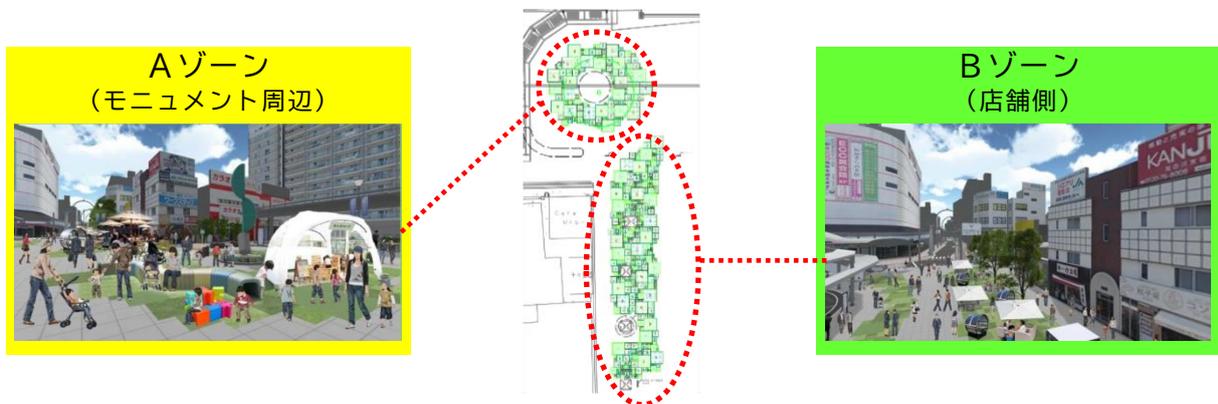
1. 目的

駅南広場の快適な滞在空間を創出するため、ストリートファニチャーを設置する社会実験を実施し、その効果を分析することで、将来の駅前広場設計等の検討を行うもの。

2. 実施内容

(1) 滞在空間の創出

次のA・Bゾーンにおいて、より多くのシーンを想定した効果検証を可能にするため、約2ヶ月間、期間を区切りながら柔軟に展開する。



Aゾーン：安心して子どもを遊ばせられるくつろぎ空間

11月1日～14日
くつろぎ空間
(やすらぎ感)



11月15日～12月12日
キッズスペース
(やすらぎ・安心感、寛容性)



12月13日～12月26日
イルミネーション
(期待感)



Bゾーン：リモートワークも可能なサードプレイス

11月1日～14日
カフェテラス風
ワークスペース



11月15日～12月26日
冬でも暖かいプライベート空間



※上記は事業者提案のイメージであり、関係機関との協議により変更する場合がある。

(2) オープニングイベント

社会実験の開始にあたり、加古川駅周辺（以下「駅周辺」という。）の再整備に向けた市民の機運醸成を図るため、次のとおりオープニングイベントを実施する。

日時		プログラム
11/1（金）	11:15～12:00	開会式（主催者・協力者挨拶、ダンスイベント、エリア紹介）
11/2（土）	16:00～20:00	キッチンカー駅フェス～KAKOGAWA～（*）

*：JR加古川駅周辺公共空間活用ガイドラインに基づく民間団体等主催の事業

(3) 公共空間活用におけるレンタル品の無償貸出

駅周辺の賑わい創出を図る公民連携の取組として、民間団体等への更なる活動の場の提供と活動機運の向上を図るため、駅前広場等の公共空間を活用したイベントを実施しているところである。

社会実験期間中、受託者の株式会社西尾レントオールのご協力を得て、民間団体等が気軽に公共空間を活用できるようテント等のレンタル品の無償貸出を行う。

【レンタル品（例）】

3m×3mワンタッチテント 四方横幕付き、ウエイト8個/張 (上限8張)	木目デコラテーブル1800×450 木目デコラテーブル1800×600 (上限20本)	折りたたみ椅子 (上限40脚)
		

※その他「カタログスタンドA4-6段（上限10台）」「パネルスタンド（上限10本）」

3. 今後のスケジュール

令和6年10月下旬	人工芝設置工事
11月1日～12月26日	社会実験